

《担当者名》 守田 玲菜 r-mori@hoku-iryo-u.ac.jp 西 基 濱田 淳一 常田 美和  
中安 隆志 伊藤 加奈子 船橋 久美子 横川 亜希子 谷本 真唯

## 【概要】

看護学の集大成の科目である。これまでの学習を振り返り、自己の学習成果の確認のために、看護学に関する基礎および専門分野を総合的に学習する。

## 【学修目標】

1. 3年半にわたって学んできた看護学の学習で理解が不十分であった点を点検し、それらを充足することができる。
2. 看護学に関する基礎および専門分野を広く学び、専門職である看護職として必要な総合力を身につけることができる。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	薬理学	臨床現場で使用される薬剤の動態、副作用および使用法	西
2	人体の構造と機能	脳神経系：中枢神経	濱田
3	人体の構造と機能	脳神経系：脊髄、末梢神経	濱田
4	人体の構造と機能	脳神経系：特殊感覚・一般感覚	濱田
5	人体の構造と機能	腎・泌尿器の解剖生理学と体液の調節機構	濱田
6	疾病の成り立ちと病態生理	脳神経その1：脳血管疾患	守田
7	疾病の成り立ちと病態生理	脳神経その2：脱髄・変性疾患	守田
8	疾病の成り立ちと病態生理	運動器	守田
9	疾病の成り立ちと病態生理	その他	守田
10	基礎看護学	看護の基本となる概念、看護の展開、看護における基本技術	横川
11	成人看護学	検査・治療を受ける患者の看護	伊藤
12	母性看護学	母子保健統計と法律、周産期にある人々の看護	常田
13	小児看護学	子どもの成長・発達、子どもの疾患と看護	谷本
14	老年看護学	老年期の特徴(統計的傾向を含む)と看護	船橋
15	精神看護学	精神の機能と構造、精神疾患の病態と看護の理解	中安

## 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

## 【評価方法】

授業参加状況(100%)

## 【教科書】

特になし。適宜、講義資料などを配付する。

## 【参考書】

医療情報科学研究所(編)(2023, 2024)看護師・看護学生のためのレビューブック2024 2025.メディックメディア。  
医療情報科学研究所(編)(2023, 2024)クエスチョン・バンク看護師国家試験問題解説2024, 2025.メディックメディア。

## 【備考】

- 1) 開講日が変則のため、受講に際しては授業開始日に配付される日程表を参考にする。
- 2) 授業の出席確認などは、Google Formsを活用する。
- 3) 担当者の判断で、資料などはGoogle Driveを活用することがある。

## 【学修の準備】

授業内容に該当する既修の講義内容に関して復習および参考書の該当部分を予習すること(予習復習4時間)。

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

DP3: 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

**【実務経験】**

西基(日本小児科学会認定小児科専門医、日本公衆衛生学会認定専門家、日本医師会認定産業医)、守田玲菜(医師)、横川亜希子(看護師)、伊藤加奈子(看護師)、谷本真唯(看護師)、常田美和(助産師、産業保健師、看護師)、船橋久美子(老人看護専門看護師)、中安隆志(精神看護専門看護師)

**【実務経験を活かした教育内容】**

各専門分野の実務経験を活かして、看護学の基礎および専門分野の知識を系統的かつ統合的に身につけられるように教育する。